

2024年4月16日

(一社) 日本音響家協会中部支部
支部長 丹羽功 様

(一社) 日本音響家協会中部支部
監査 吉田廣嗣 

監査報告

定款施行細則第 59 条により、中部支部の 2023 年度（自 2023 年 4 月 1 日、至 2024 年 3 月 31 日）の事業報告及び決算報告を監査したので下記の通り報告します。

記

1、監査の方法

2023 年度の運営委員会、及び各種事業に参加し、2023 年度の各種事業報告書、各種報告書及び運営委員会議事録などを閲覧して運営委員の業務執行の状況を監査した。また、2024 年 4 月 16 日に愛知芸術文化センターに於いて、会計浅野芳夫氏の提示した会計書類などを精査して 2023 年度の会計を監査した。

2、業務監査

(1) 事業報告書

運営委員会が、各担当委員より提出された事業報告書を承認しており、各事業別に執行状況と総括の要旨を議案書に記載して適正に事業報告および決算報告がなされている。

(2) 運営委員の業務の執行

支部長を中心に各業務が執行され、順調に遂行されている。

(3) 会議の運営

① 支部社員総会について

支部社員総会の招集手続きは、従来通り「往復はがき」により必要事項を記載し、返信はがきと電磁的方法による出欠の確認と委任状の提出で会員の議決権を保証している。また、会議の議事についても、適正に遂行され、議事録も適切に残し、協会のホームページに開示されている。

② 運営委員会について

事務局長が議案書を作成して招集するとともに、電磁的方法による出欠確認と委任手続を行い、無届欠席の防止が図られている。会議後は適切に会議報告がなされている。

③ 実行委員会等

実行委員会は委員多忙な中、内容について運営委員会時に合わせて諮られることもあった。大方は電磁的方法により円滑に進められていた。

3、事業の実施状況

(1) シリーズ事業

① 「プロ音響機器フェア in NAGOYA」

東海地区でプロ音響機器展示会を実施しているコネクト実行委員会に参加し、スピーカーの試聴会を協力実施した。この催しは当地区唯一の事業であり、東海地区の音響技術者より厚い支持を受けている。

② 「イベント企画者のためのワークショップ・音響基礎知識と舞台の安全」

2024年2月2日、名古屋市芸術創造センターにおいて開催された。受講者は33名であった。しかし、日頃めったに聴くことができない内容で参加者に大変好評であった。

③ 「機関誌特集の企画編集」

機関紙の特集企画編集は5支部が持ち回り担当している。中部支部は、毎回ユニークなテーマで企画しており、今回は118号で7月発行分を担当した。

(2) 単発事業

① 「SET ビギナーズコース・名古屋」(SET 実行委員会)

12月21日、本部事業と共催で実施。19名の受講者があった。講師陣は中部支部選出講師のみで、円滑に実施出来ていた。次年度も継続されていくことが望まれる。

② 「会員の交流と親睦を図る会」

懇親会を2月2日にワークショップ終了後に開催された。参加者7名と少なかったのが残念であるが、久々の会員交流のできた事業であった。

4、会計監査

2024年4月14日、毎月の会計報告、会計帳簿、入出金伝票類、預金通帳及び手持ち現金を精査したところ、全て適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

以上